

事業名	幼稚園における預かり保育の推進
担当課	学事課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	1
当初予算額(千円)	241,000			決算額(千円)	216,411		
事業の概要・目的	幼稚園の教育時間の前後や休業期間中(土日祝日・長期休業)に、園児を幼稚園内で過ごさせる「預かり保育」を実施する学校法人立等幼稚園に対し人件費を補助することにより、保護者の育児負担の軽減及び仕事と生活の調和の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	—						
目標	—	実績	—				

2 事業の実施結果

通常日預かり保育に対する人件費の補助・・・282園へ計188,356千円 長期休業日等預かり保育に対する補助・・・212園へ計28,055千円 合計282園へ216,411千円を交付した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

＜課題・今後改善すべき点＞ 「子ども・子育て新システム」関連法案等の新たな制度について、情報収集に努め、適時適切に情報提供を行うことにより、新システムへのスムーズな移行を図る必要があり、本施策についても、新システムの導入に合わせ必要な見直し等を行っていくことが必要である。

4 委員意見

預かり保育の利用件数はわずかではあるが増加しており、効果が認められる。ただ、事業全体を見ると、利用率が大変低いことが残念である。利用者の増加を図るために、利用者や幼稚園の意見を聞いて、より利用しやすくなるよう工夫してもらえればと思う。例えば、現状の預かり保育の実施時間などは、多様なニーズに対応できていないのではないかとと思われる。 使い勝手を良くするため、現場の声を、国にもしっかりと届けるとともに、県においても独自に実施方法等を工夫していくことが必要である。 また、今後は、都市部はもちろんであるが、地方でのサービスの充実も重要になってくるとと思われる。利用者増のためのアピール方法を工夫することも期待する。
--

事業名	保育所施設整備の助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
当初予算額(千円)	4,439,000			決算額(千円)	3,758,532		
事業の概要・目的	県内の保育所における入所待機児童の早期解消と新たな保育需要への対応及びより質の高い保育環境の整備のため、民間保育所の創設・増改築の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) 保育所の待機児童数が50人以上の市町村数						
目標	・割合を増やす。 ・保育所整備により待機児童を減らす。	実績	75.2% 4市町村 (H24.4.1)				

2 事業の実施結果

50施設、2,254人の定員増を図り、子育て家庭の支援をした。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
実施結果・効果	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	50施設2,254人の定員増を図り、子育て家庭の支援をした。
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

＜課題・今後改善すべき点＞

保育所の待機児童は、大きな社会問題となっており、今後は、保育所施設整備の促進と合わせて家庭的保育事業や小規模保育事業等も活用し待機児童の解消を図る。

4 委員意見

予算も大幅に増額されており、施設整備が進み定員増加が図られる等、待機児童の解消に向けて事業を進めていることは評価する。しかしながら、待機児童の数は全体では減っておらず、増加している地域もあるなど課題が残っている。

制度の見直しや、民間の事業者への支援といった千葉市の取組も参考になると思われる。このような取組を各市町村が参考にすることで、子ども達の置かれた環境が改善されることを望むものである。

保育所整備は、地域における雇用の創出にも寄与する施策であり、都市部だけでなく、郡部においても充実されることを期待する。

事業名	保育士拡充への助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
当初予算額(千円)	257,000			決算額(千円)	255,799		
事業の概要・目的	県内の保育所における入所待機児童の早期解消と新たな保育需要への対応及びより質の高い保育環境の整備のため、保育士の充実を図り、多様な保育ニーズに対応する。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) 保育所の待機児童数が50人以上の市町村数						
目標	・割合を増やす。 ・保育所整備により待機児童を減らす。	実績	75. 2% 4市町村 (H24.4.1)				

2 事業の実施結果

児童にとっては、人格形成の基礎を培う重要な時期であることから国の基準を超えて保育士を配慮し、すこやかな成長に寄与した。 延べ288施設に人件費を補助した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	延べ288施設に人件費を補助した
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

特になし

4 委員意見

施設の拡充に伴い、今後ますます保育士の確保が必要になってくる。潜在保育士の多さを考えると、再就職しやすい環境の整備や、労働条件の改善などが求められる。保育の質の向上は、子どもにとっても重要な問題である。男性保育士を増やしていくことも、必要だと思われる。 また、民間と公立の保育園での給与の格差を無くすということも大切で、単に補助金を支出するだけでなく、実情を把握して、現場の声を吸い上げた上で、事業を実施することを期待する。

事業名	放課後児童クラブの助成
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	2
当初予算額(千円)	1,308,000			決算額(千円)	1,280,849		
事業の概要・目的	小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。						
数値目標など							
指標名等	子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート)						
目標	割合を増やす。	実績	75.2%				

2 事業の実施結果

市町村が実施又は助成する放課後児童クラブの運営費について助成を行った。(平成24年度：51市町村、630クラブ)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
実施結果・効果	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	女性の社会進出等の一助となった。
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

＜課題・今後改善すべき点＞ 放課後児童の健全育成を図るため、運営費の補助基準額の引上げ等、助成額のさらなる増加を図る必要がある。

4 委員意見

放課後児童クラブの設置数も、登録児童の数も増加しており、事業の効果が上がっている事を評価する。しかしながら、児童クラブに登録できない児童数も増えていることから、設置数の拡大など、更に充実させることを期待する。ニーズに応じて対応できる体制づくりが大切である。 働く女性が増加していく中で、放課後の子どもの居場所づくり・安全対策として重要な事業である。県として積極的に市町村に呼びかけ指導して欲しい。 なお、児童クラブで働く指導員の労働条件や、質の確保も大切である。指導員の育成について、研修体制の整備など対策を講じることも期待する。

事業名	子どもの医療費助成の充実
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	3
当初予算額(千円)	5,929,000			決算額(千円)	5,708,223		
事業の概要・目的	子どもの保健施策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの疾病に係る医療費について、市町村が行う医療費助成に要する経費を助成する。						
数値目標など							
指標名等	－						
目標	－	実績	－				

2 事業の実施結果

給付実績・補助対象者	654,081人
・延べ件数	7,351,695件
・延べ日数	11,050,100日

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか（防災・健康分野に係るもの）	○	
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態（情報提供、時間帯、その他の配慮（育児・介護の便宜）等）となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

特になし

事業名	障害児・者やその家族に対する支援
担当課	障害福祉課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	②	施策番号	4
当初予算額(千円)	47,600			決算額(千円)	47,600		
事業の概要・目的	発達障害者支援センターにおいて、発達障害児(者)及びその家族の相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、普及・啓発や研修、関係機関等との調整を行う。						
数値目標など							
指標名等	相談者数						
目標	1,800	実績	3,108				

2 事業の実施結果

発達障害者支援センターにおいて、発達障害児(者)及びその家族からの相談に応じ、支援を行った。 (1) 相談支援 1,167件 (2) 発達支援 1,539件 (3) 就労支援 402件							
---	--	--	--	--	--	--	--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	男女双方が相談できるように、毎週土曜日にも相談に対応している。
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	×	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

特になし
